



伊勢崎 WIN 改装プラン

2006.March.30

Relaxation & Exciting

2つの表情をもった大人の遊空間

伊勢崎
WIN
電玩プラン

Relaxation & Exciting 2つの表情をもった大人の遊空間

外観-1 (駐車場側ファサード登)



伊勢崎
WIN
電玩プラン

Relaxation & Exciting 2つの表情をもった大人の遊空間

外観-2 (駐車場側ファサード夜)



伊勢崎
WIN
車載プラン

Relaxation & Exciting 2つの表情をもった大人の遊空間

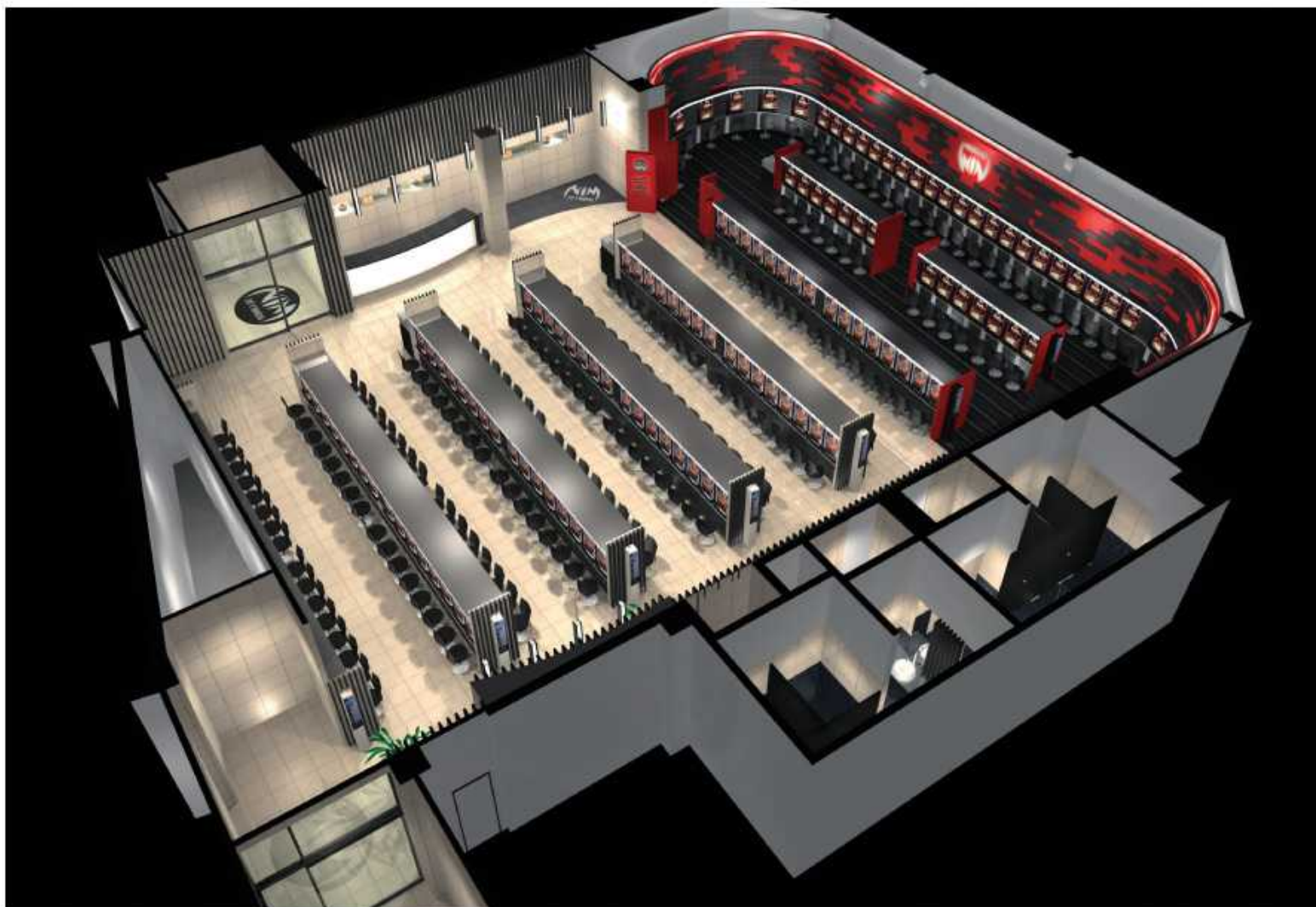
外観-3 (道路側)



伊勢崎
WIN
改装プラン

Relaxation & Exciting 2つの表情をもった大人の遊空間

全体鳥瞰



伊勢崎
WIN
最新プラン

Relaxation & Exciting 2つの表情をもった大人の遊空間

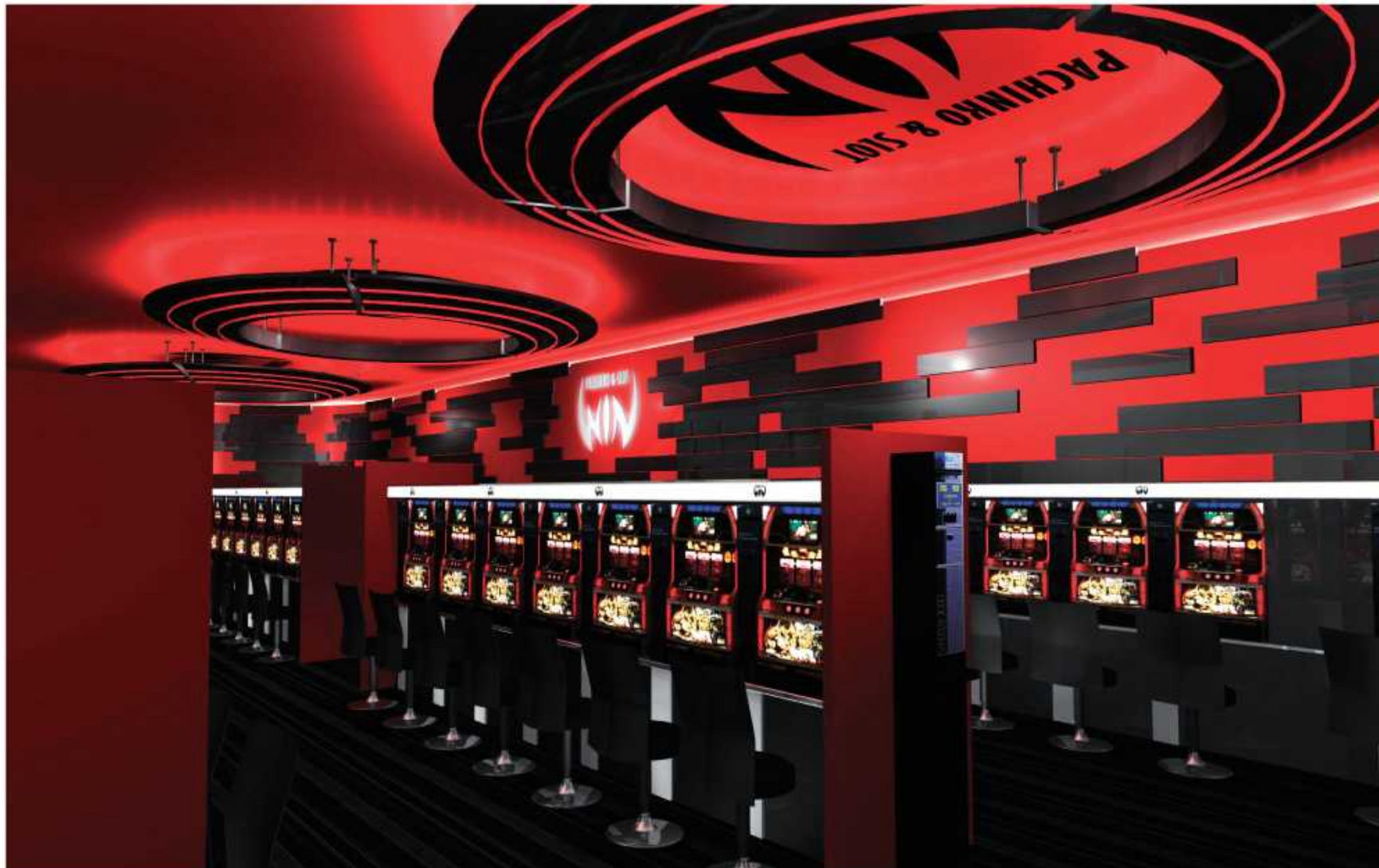
パチンココーナー



伊勢崎
WIN
改装プラン

Relaxation & Exciting 2つの表情をもった大人の遊空間

スロットコーナー



伊勢崎
WIN
遊藝プラン

Relaxation & Exciting 2つの表情をもった大人の遊空間

受け付け



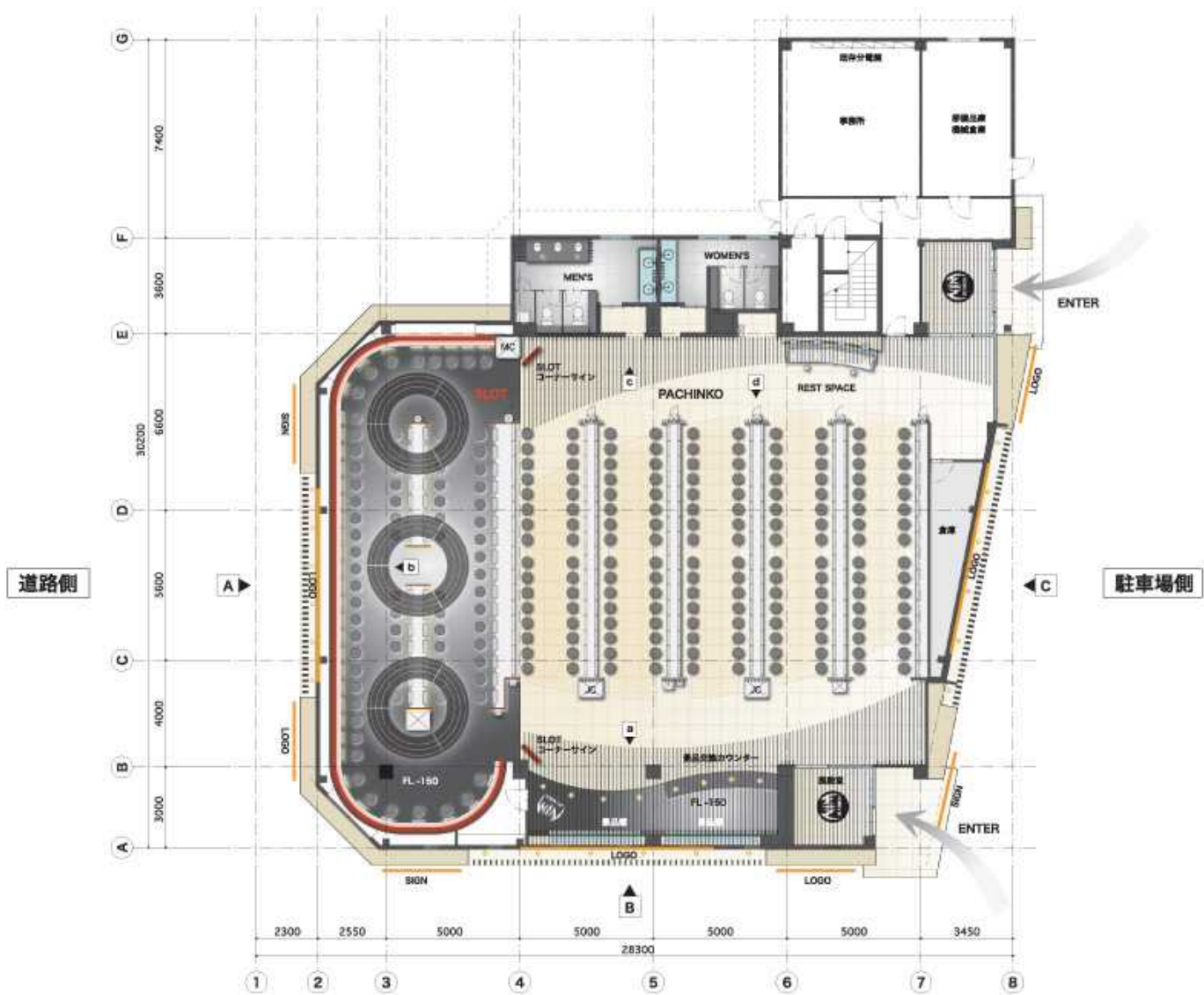
伊勢崎
WIN
改修プラン

Relaxation & Exciting 2つの表情をもった大人の遊空間

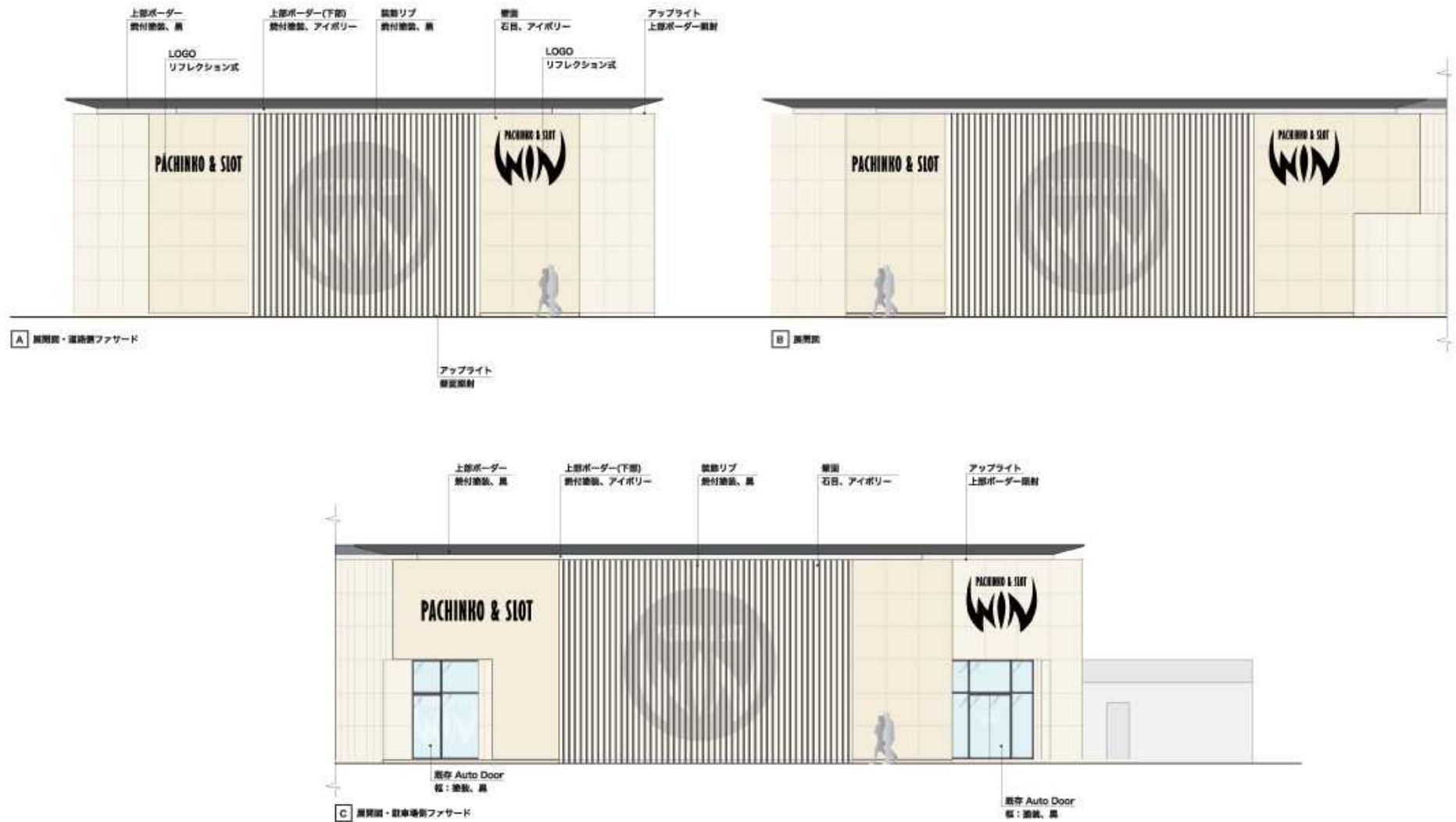
トイレ



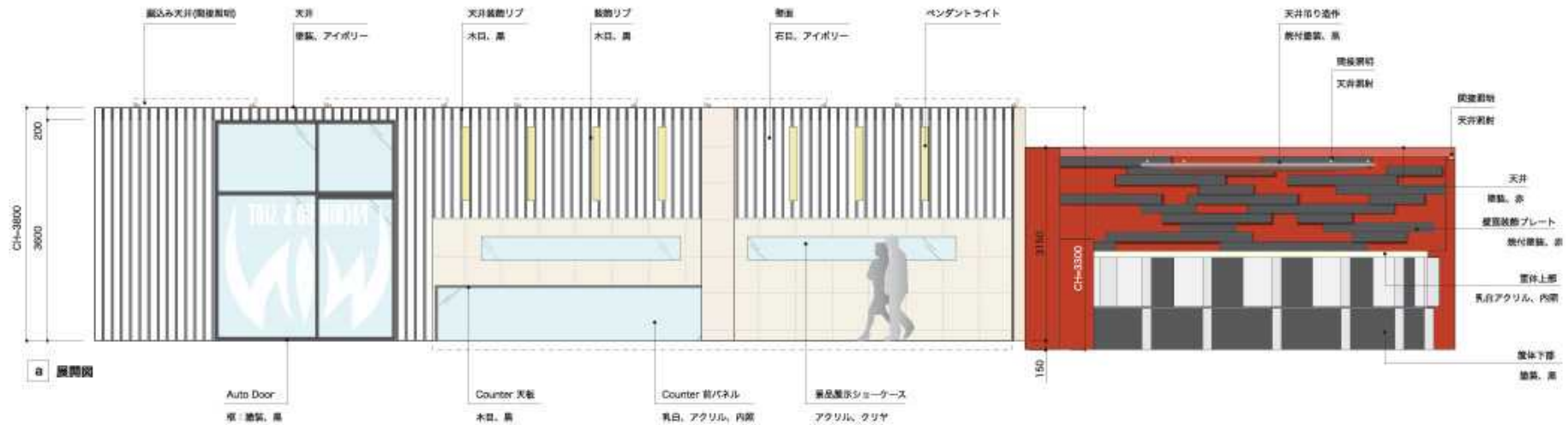
平面天伏図



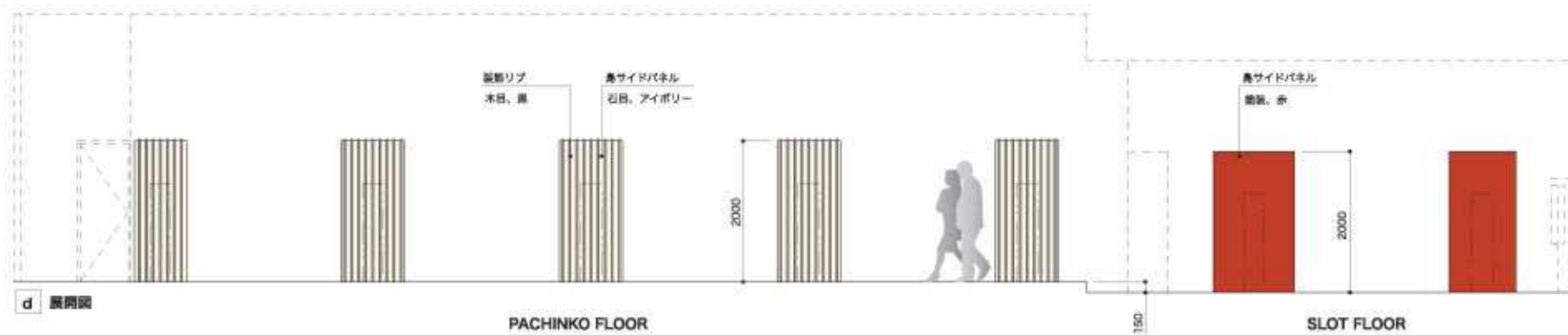
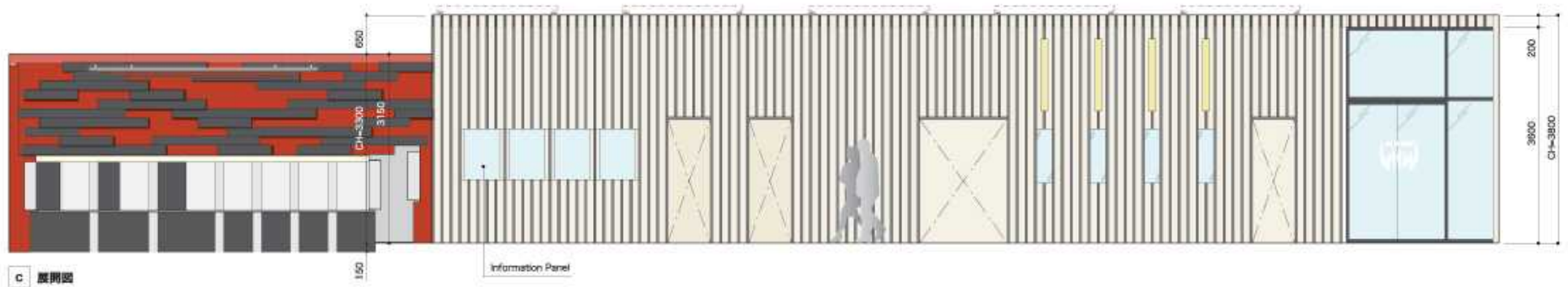
ファサード展開図



各所展開図-1



各所展開図-2



伊勢崎
WIN
改装プラン

Relaxation & Exciting

2つの表情をもった大人の遊空間

ロゴマーク

店舗のロゴマークは、認識しやすく覚えやすい必要がある。WINの三文字をモチーフに、バリエーションを持たせ考案した。内装のイメージとの統一感を持たせる目的で、赤もしくは黒のカラーリングとした。



PLAN-1

勢いとオリジナリティあるロゴイメージ。球体にぴったり組み合うため、ノベルティ等での活用が容易。マークとしてインパクトがあるので、ファサードで大きく使うことで店舗の印象度が高まる。



PLAN-2

クール／モダンなイメージ。安定した感じとスタイリッシュな印象を与える。現在主流となっているミニマルなデザインによって、進んだ空間を連想させる。



PLAN-3

波のように流れるラインを印象的にあしらったデザイン。オーソドックスながらも楽しそうなイメージ。左右のラインを延ばすことで、壁面等、さまざまな場所での展開が考えられる。

伊勢崎
WIN
改装プラン

Relaxation & Exciting

2つの表情をもった大人の遊空間

ロゴマーク-2 展開

ロゴマークは、ファサードや店内内装に限らず様々な用途で使用することで、ホール全体のイメージが統一感を持ち、店舗としてのアイデンティティを形成する。効果的に顧客へ印象づける上でも、ロゴマークの展開は重要である。

スタッフ用ウェア



ドル箱



メダル



メンバーズカード



名刺



差し札



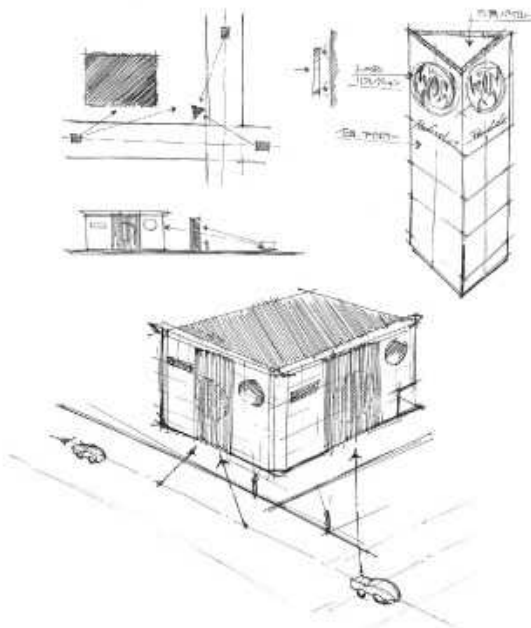
携帯ストラップ



集客性の高い店舗とは単に目立つだけでなく、空間全体が顧客にとって心地よい空間である。出玉の期待と高揚感も兼ね備えた店舗であるという考えに基づき機能と形態を考えた。

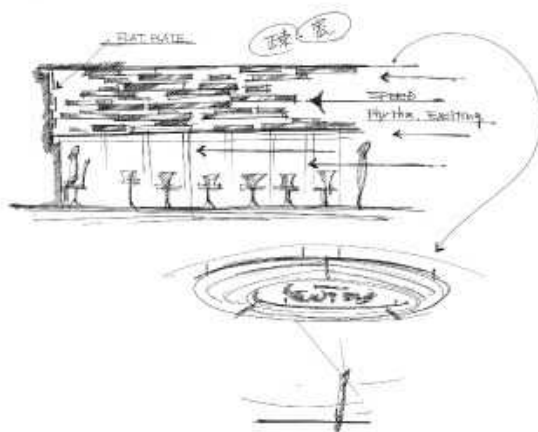
POINT-1 「視認性」

街道沿いの大きな駐車場を併設する本店舗は視認性を考慮してデザインすることが、改装プランのもっとも重要なポイントとなる。ヒトとクルマの移動速度と視認距離の違いをファサードとサインのデザインに反映することで建物自身のインパクトと視認性が向上する。



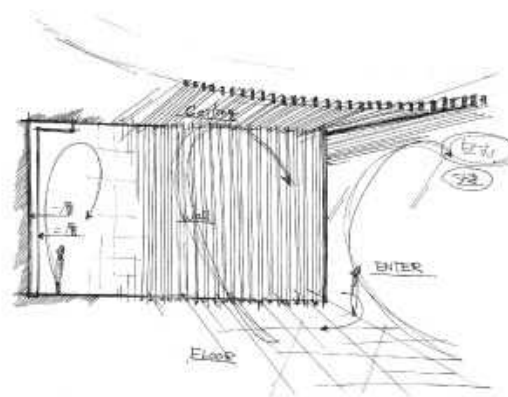
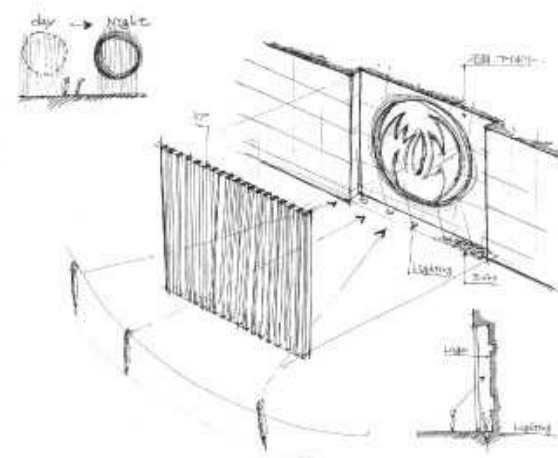
POINT-2 「空間密度」

店舗内装は顧客に時間の流れを忘れて遊べるような空間が必要である。「ゆったりとした雰囲気」と「勝利を予感させる興奮」の相反するイメージを取り入れることが、時間を忘れて遊べる空間のキーワードとなる。それは空間全体に「疎と密」「静と動」のリズムを付加したデザインをすることで解消でき、同時に顧客満足度の向上にもつながると考える。



POINT-3 「二重構造」

ファサード、店舗内装ともに、シチュエーションによって異なる表情を見せる空間が顧客のイメージを膨らませ飽きのこない遊びの空間となる。具体的には夜と昼、見る角度によって見え方が変わるような空間づくりであり、二重構造による見え方の変化と奥行き感を表現する。





ファサード

昼は石とスチールの素材感を感じることができ、夜はライトアップによって立体的に浮かび上がる、店舗の顔ともなる部分で、白い石目と黒いスチールのコントラストは遠距離からでも容易に視認できる。また、黒いスチールの後ろには角度によって見え方が変わるエンボス

状のロゴがライトアップされ、不思議で高品質な印象を与える。視覚的に簡潔なインフォメーションをするため、サインは極力シンプルかつインパクトのあるものとし、大きく立体的に配置したロゴは店舗のイメージを視覚化させたものである。



パチンココーナー

ファサードと同様、石目調の壁面手前に木製の黒い縦材を配置し、石と木製の高級感を表現する。木製の縦材はそのまま天井に折返し全体に奥まで流れのある包み込む空間

ボリュームを構成する。この縦材は島の妻板部分と休憩コーナーにも配置し空間全体に統一したイメージを構築する。



スロットコーナー

パチンココーナーとは一変したイメージで赤い壁面に黒い鉄板がランダムで配置される硬質な空間。全体照度を落としたスロットコーナ

ーはロゴや天井に間接光を当てるなど、抑揚をつけた光を使用し、高品質かつハイタッチなイメージを表現する。